

稲美町でシルビアシジミを目撃

久保弘幸

2020年6月に、稲美町内でシルビアシジミ (*Zizina emelina*) を目撃したので報告しておく。

【目撃場所】 兵庫県加古郡稲美町国安 (稲美中央公園内)

【確認日】 2020年6月20日

【個体数】 1ex.

シルビアシジミは環境省レッドリスト I b 類, 兵庫県レッドリスト A ランクに登録されている蝶である。兵庫県の蝶 (広畑・近藤 2007) によれば, 稲美町内での採集例は知られていない。

今回目撃した場所は, 周辺にミヤコグサは認められないことから, 近隣より飛来したものと思われる。隣接地域に生息地が存在する可能性が高く, その確認が期待される。

○参考文献

広畑政巳 近藤伸一 2007 『兵庫県の蝶』 331pp.

(Hiroyuki KUBO 兵庫県明石市
兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会)

神戸市中央区市街地におけるミカドアゲハの記録

山崎由美子

2020年6月7日11時30分ごろ, 兵庫県神戸市中央区中山手6丁目関西国際大学神戸山手キャンパス3号館付近にて, ミカドアゲハ (*Graphium doson albidum*) 1頭を観察した (図1)。約2分間街路樹の葉の上に静止していたため, 撮影に成功した。腹部の形状, 黒帯の入り方からオスとみられる (日本チョウ類保全協会, 2012)。裏面基部の斑紋がある部分に薄い黄色が見えるが, 明瞭ではない。

ミカドアゲハは本来南方系の蝶であり, 兵庫県内のミカドアゲハの目撃や採集は早くも1958年, 1964年に記録があったものの (2例とも淡路市), これらは四国或いは和歌山から飛来したと考えられた (近藤, 2020)。2008年以降, たつの市, 赤穂市, 宝塚市, 加古川市, 西宮市, 伊丹市, 芦屋市, 神戸市で記録が相次いだ (長田ら, 2015)。定着については, 1994年前後に香川県 (出嶋, 2012), 2000年代に岡山県で確認されたが (近藤, 2020), 兵庫県では近年に至るまで確認されていなかった。しかし, 2019年5月には伊丹市で

産卵が確認され (角正ら, 2020), 西宮市甲山森林公園内で2019年, 2020年の2度にわたり記録された状況は, 公園内での定着を強く示唆していた (近藤, 2020)。

本例観察付近において2021年4月時点で定着を確認できていないが, 撮影場所は神戸市立相楽園に隣接しており, 園内, 園外の街路にはタイサンボク *Magnolia grandiflora* が植えてある。タイサンボクは北米原産で, モクレン科に属し, 神戸市街地に多く見られる。日本では本州から沖縄にかけてミカドアゲハが食樹としており (長田ら, 2015), 伊丹市では産卵が確認された木である (角正ら, 2020)。香川県内のミカドアゲハ分布拡大の一要因としてタイサンボクの植樹増加が挙げられており (出嶋, 2012), 同様のことが神戸を含む他の地域でも生じているかどうか, ミカドアゲハの分布変化を調査する上で今後検討すべき課題の一つと言えよう。

本報告をまとめるにあたり, 近藤伸一氏よりご助言を賜った。ここに改めて御礼申し上げる。

○参考文献

長田庸平・矢後勝也・矢田脩・広渡俊哉, 2015. 雌雄交尾器とDNAバーコーディングに基づくミカドアゲハ日本産亜種の再検討, 特に沖縄島と対馬個体群の所属について. 蝶と蛾, 66 (1): 26-42.

角正美雪・大櫃成章・尾崎由紀・尾崎雄二・松本好子・松尾雅仁・田淵千里・大橋昭仁・坂本昇・前畑真実, 2020. 兵庫県伊丹市におけるミカドアゲハ (チョウ目, アゲハチョウ科) の記録. 伊丹市昆虫館研究報告, 8 (3), 25-26.

近藤伸一, 2020. ミカドアゲハ兵庫県内の記録3例. きべりはむし, 43(2): 52-53.

出嶋利明, 2012. 香川県におけるミカドアゲハの分布拡大. やどりが, 234: 26-27.

日本チョウ類保全協会 (編), 2012. フィールドガイド日本のチョウ. 誠文堂新光社.



(Yumiko YAMAZAKI
兵庫県神戸市)

図1 観察時の状況